

平成 29 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

東京都

行 事 名 称	第 64 回文化財防火デー 深大寺消防演習
実施期間・日時	平成 30 年 1 月 26 日（金）午前 10 時～10 時 30 分
実 施 場 所	深大寺（東京都調布市深大寺元町）
主 催 者	宗教法人深大寺、東京消防庁

■実施内容

訓練の想定

深大寺本堂から出火し、逃げ遅れ多数とともに文化財に延焼危険が生じた。深大寺僧侶を中心に、避難誘導及び初期消火活動が実施され、文化財を搬出。火勢が強く延焼拡大中で、周囲の建物への延焼危険が生じている。

訓練の内容

寺職員による火災発見、通報、初期消火（消火器・可搬ポンプ）、参拝者の避難誘導、文化財（模擬）の搬出訓練。消防署及び消防団による放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

- ・ 深大寺院内自衛消防隊（僧侶・職員）：119 番通報、初期消火、避難誘導、文化財（模擬）搬出
- ・ 深大寺自衛消防隊（そば組合有志）：初期消火
- ・ 東京消防庁、調布消防署・調布市消防団：放水訓練
- ・ 東京消防庁（消防総監）：講評
- ・ 深大寺小学校 3 年生、参拝者：見学参加
- ・ 調布市教育委員会：現場立会い

特に工夫した点

地域全体で文化財保護への意識を高めるため、訓練には、消防署と寺関係者だけでなく、門前に店を連ねるそば組合の自衛消防隊も消火訓練を行うほか、近隣の深大寺小学校の生徒も見学という形で参加している。訓練の前に、文化財保護の重要性や防火対策、訓練内容の説明を行うことで、一つ一つの訓練の意味を理解し、より能動的に参加できるようにするほか、文化財保護に対する意識の向上を図った。

問題点・課題

深大寺は参拝者や観光客が多く訪れるため、実際に火災が起きたときに、速やかに避難誘導ができるか課題である。また、寺には国宝釈迦如来倚像をはじめ、市指定文化財など多くの貴重な文化財がある。これら文化財を損なうことなく安全な場所へ搬出できるかも課題。

その他

文化財に対する愛護精神を養うためにも、地域住民と連携した防火訓練を継続的に実施することが重要と思われる。

訓練風景



放水訓練